

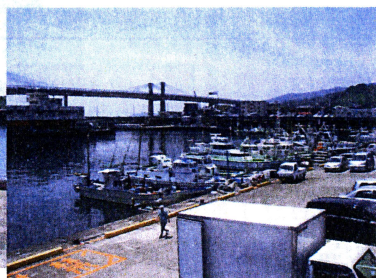
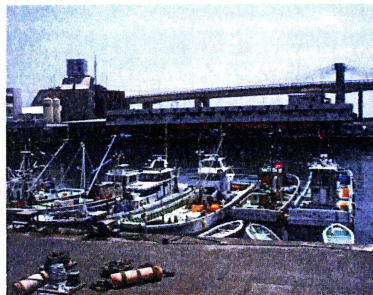
号 外 ど お え ～ す!

皆様お待たせしました。
ついに復活!! 久々の、懲りない釣り師の釣り談義。

うたた寝船頭の夜伽話



『昨日迄は、良かったんだけどよう・・・』 私のよく行く釣り船の、船頭の口癖である。
又、『今日は潮が濁っていて駄目だなあ～・・・』とか、『今日は潮が速くて駄目だなあ～・・・』、『今日は潮が澄みすぎで・・・』や、『今日は潮が流れてねえから・・・』・・・・云々・・・・。
じゃ～、いったい何時来たら、魚が釣れるのだろうか?? 本当に疑ってしまう・・・・。
この船頭、人の良さは天下一品! ? の爺さんで、いつもいつもその屈託のない笑顔と、『たまにゃ～、良いこともあんべえ～からまた来てくれや!』のフレーズからか、怒るにもどうにも文句が言えなくなってしまうのである。



いかにも釣れそうな、早川港!

本当に釣れないのだから、全くどうしようもない・・・・。

私の腕が悪いのかって・・・・??

そうなのかもしれないが・・・・?!

でも、いつかこんな事があった。
いつもの戯言と、聞き乍らの事、昼時、船上で昼食を摂り乍ら

何を思ったのか、**この船頭!!**、アンカーをうった!
挙げ句の果て暫くして、私が操舵室に魚探を覗きに行くと、

こともあろうに**昼寝を扱っているではないか!!**

確かに今は潮止まりで、それまでポツポツと釣り上がっていた小鰻(本当に小さい)の食いが止まっていたところだったが・・・・。

これには普段、**温厚で紳士的な私も! ?**、『船頭さん、ちょっと場所を変えましょうよ・・・・!』と遠慮しがち(実は威嚇していたのだろうか?・・・・)に、つい口走ってしまった! と船頭、ふと我に返り又、何時の台詞を『今日は駄目だなあ～、潮も動いてねえし・・・・、もうちょっと待てば良くなんべえ～よ・・・・』と宣う。



この野郎！！ と思い乍らも、渋々従うしかない現状。

板子一枚下は地獄、船頭の言うがまま・なすがまま。

はたして小一時間位たった頃だったか、潮の流れが変わったのか、はたまたコマセが効いてきたのか、又ポツポツ釣れ出したのだった。

それ見たことか！！と船頭、『俺の勘に狂いは無かったんだべえ〜よ』と鼻高々に言う。

『ちえ〜っ！！、昼寝扱いてたくせにいつもこの位の調子で釣らせるよ〜！』と心の中で呟く……………！

殊の外、魚の餌食、生態は本当に解らない。魚探（魚群探知機）にいったいの反応があるにもかかわらず、魚が食いつかない事が度々ある。

反対に船の下に魚の敷物でもあるかと思う位（滅多に無いのだが）、バカスカと釣れることもある。

当然そんな時、船上では客は**狂喜乱舞・百花繚乱、蟹工船状態？！**と化するのである。

小便はおろか、煙草を吸う暇もない。

『海にこの次は無いからね！！釣れるうちにどんどん釣ってよ！』・

…これは船頭の息子、若船頭の台詞。

息子船頭、これまたこまめに良く場所を移動し、頑張ってくれる。親父と**DNA**が違うんじゃないの？…と思う位まめである。

どうして親子して、こうも違うものなのだろうか？！疑心暗鬼……………？

でも愛想の良さは親父の方が一枚も二枚も上手……………。

にこつと笑う口元の☆**金歯**☆が、何とも**好々爺？？**つい騙されてしまうのである。

きっと商売上手なのだ！……………

ある時、都合で息子の船に乗船した時があった。乗船するや否や、定置網で揚げて来たものと思われる**鯆・鯖・鯛……………**等をこっそりと私のクーラーボックスに放り込んで来たのではないか……………。

それはそれは**卑しい釣師**、私にとっては何んとも嬉しい限りであった。

親父、**にくい事しやがる！**と微笑んでしまった……………。

最近根魚に凝っていて、必ず釣れる、カサゴ・メバル等を釣りに行くのだが、やっぱりこれも息子船頭の方がうまい。

休日に2週続けて釣行した事があった。

1週目は息子の船で、56匹。2週目親父の船で、21匹（これはカサゴの匹数）と歴然と差が付く位、若船頭の方が釣らせてくれる。

同船してくれた、岡田君も同様であったようだ……………。

でもやっぱり、足繁くいつもの船に乗り、いつもの夜伽話を聞きに行こうとする私がいる。

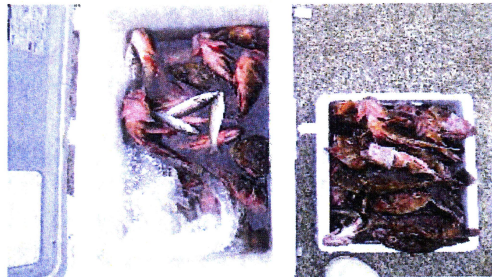
さて、今度はどんな工夫の仕掛けで釣ろうか……………？

ハリスは何号にしようか……………？

餌は……………？

考えただけでも**ワクワク**してしまう。

釣れない釣師の独り言と老船頭の『**きっと明日は良くなんべえ〜よ……………**』のつぶやきでした。



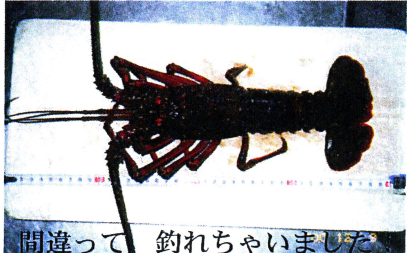


釣り2度目にして、活路を餌にマゴチをゲット
しちゃった、脳外科部長 (弘美丸ホームページより)

今度は昼寝させない位、頑張っ**て**釣るからね・・・！
今夜も妄想が膨らみ、興奮して眠れなくなってしまうそうである。

完

小田原市立病院
中根 精



間違っ**て** 釣れちゃいました

“懲いない釣師の釣歴プロフィール”

小田原市内の新玉、現在の栄町で出生、幼少より父親の影響からか、通称、三角堤防（現在の鬼柳近辺）での川釣りに勤しむ毎日。

人生最初の獲物は、オイカワ（産卵期に入った毒々しい色の魚）であったようだが・・・

喜びに震える手足の感触！ 今だに鮮明に覚えているそうです。

小学校から帰るや否や、ランドセルをホッポリ出して現地へ向かうのが日課でありました。その後中学に入学、白鷗中だそうですが、これまた酒匂川の近く、サッカー部に所属するも校外ランニング練習では河の方ばかり眺めていたそうです。中学二年に父の転勤で国府津中学へ、これ又海に近い、そこで投げ釣りを覚えたそうです。

同級生に釣り道具屋の息子もいたみたいであり、ますます釣りにのめり込むばかり・・・！エピソードとして試験の最中でも、教科書片手に投げ釣りに行ったとの事でした。

馬鹿！！本当に釣り馬鹿としか思えない。

“成績がなんぼのもんじゃ～っ”・・・（本人弁）

かくして船の免許は車の免許よりも早く取得するという本物の釣り馬鹿になっていったみたいです。

現在は根物に凝っていて家族が食して喜ぶカサゴ・メバルに夢中・・・の様子



P.S 小田原市立病院 放射線科スタッフのみんなに優しい、中根副技師長です！